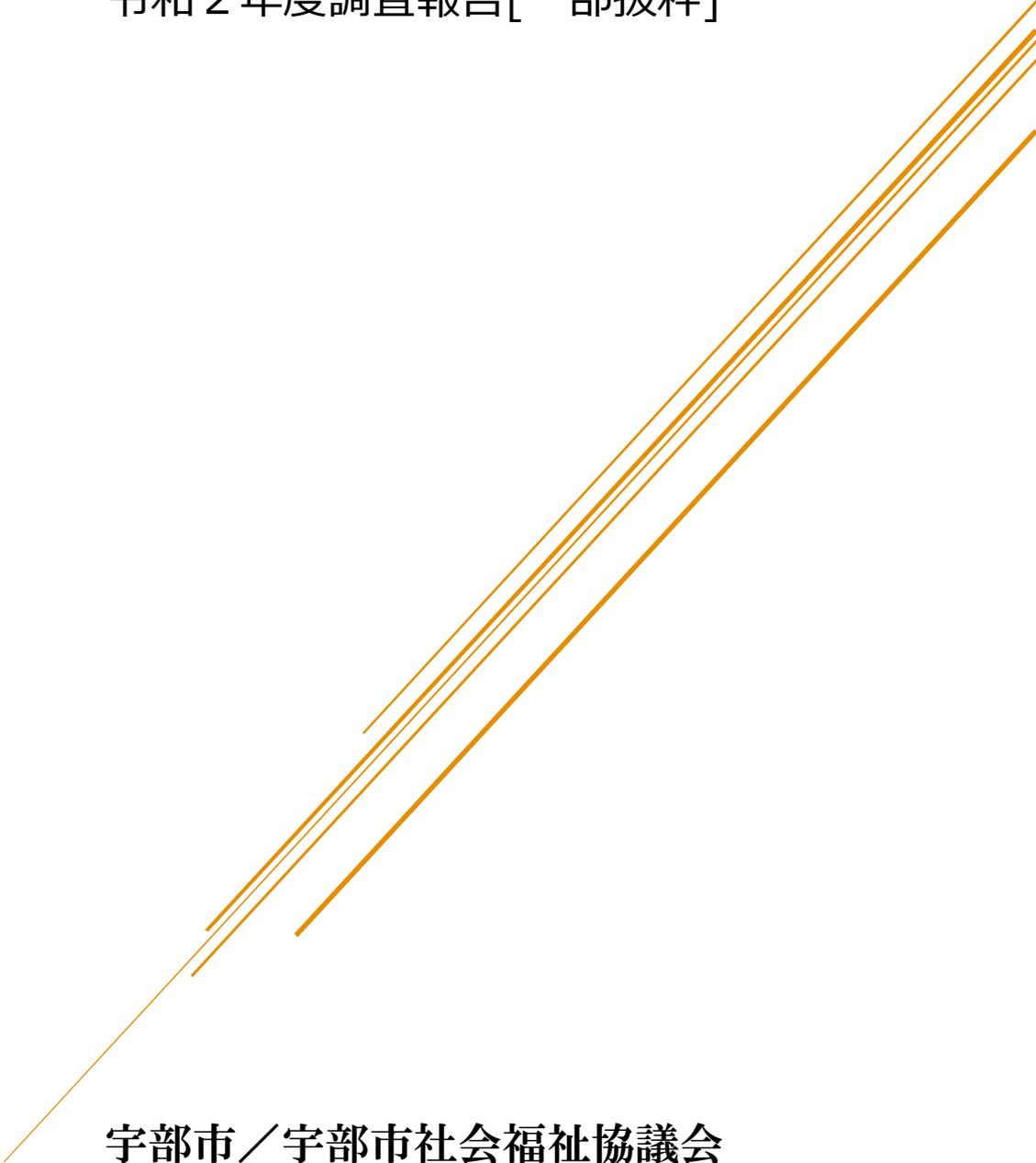


宇部市地域福祉意識調査

令和2年度調査報告[一部抜粋]

A decorative graphic consisting of several parallel orange lines of varying lengths, arranged in a diagonal pattern from the bottom left towards the top right of the page.

宇部市／宇部市社会福祉協議会

2020（令和2）年8月

目次

調査の概要	1
調査結果	2
1. 調査対象者	2
2.1 地域とのかかわり	3
2.2 日常生活の悩み・課題	7
2.3 地域福祉の考え方について	8
2.4 地域福祉の推進について	11
2.5 宇部市社会福祉協議会について	15

調査の概要

◎調査の経緯、目的

第1次地域ふくしプラン実施事業の評価と、地域福祉に関する市民ニーズを把握し、第2次地域ふくしプラン策定のための基礎資料として活用することを目的として実施した。

◎調査期間

令和2年6月1日～6月19日

◎調査の対象

18歳以上の市民1,500人

◎調査方法

郵送配布・郵送回収方式

◎回答数

574件（回収率38.3%）

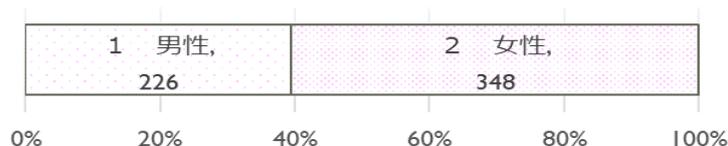
調査結果

1 調査対象者

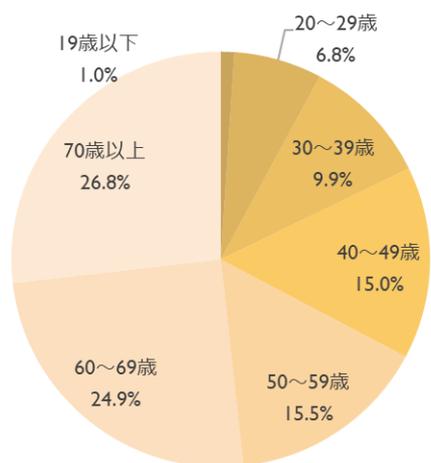
調査対象者は、性別については女性が多い。

年齢層としては 50 歳代から 70 歳代までがほぼ均等に 3 分の 1 ずつとなっている。

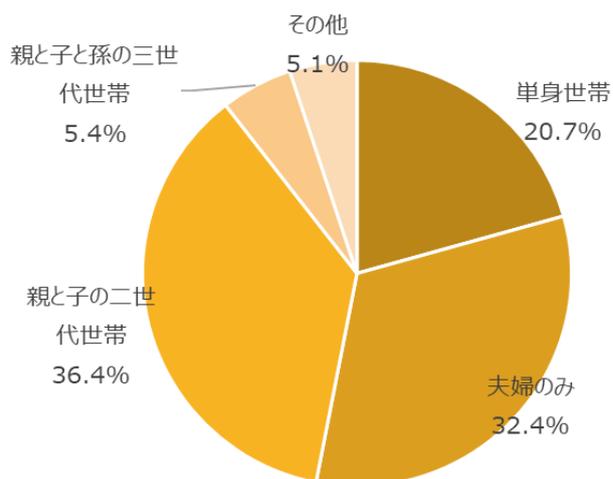
(1) 性別



(2) 年齢（6/1時点）



(4) 家族構成



(3) 居住地

N=569	人	%
東岐波	43	7.6
西岐波	55	9.7
常盤	24	4.2
恩田	42	7.4
岬	18	3.2
見初	9	1.6
神原	17	3.0
琴芝	40	7.0

上宇部	48	8.4
川上	16	2.8
小羽山	22	3.9
新川	30	5.3
鶉の島	18	3.2
藤山	36	6.3
西宇部	23	4.0
厚南	47	8.3
黒石	23	4.0

原	24	4.2
厚東	5	0.9
二俣瀬	7	1.2
小野	1	0.2
船木	14	2.5
万倉	5	0.9
吉部	2	0.4

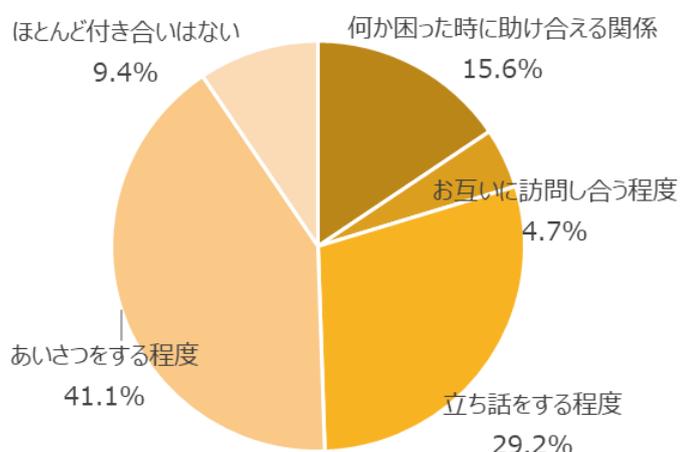
1.1 地域とのかかわり

近所との付き合いは「ほとんどつきあいがいい」とするものが1割程度で、「あいさつをする程度」とあわせると過半数を占める。「望ましい程度」に関しては、「助け合う」ことに肯定的な層が約半数で、それ以外は地域住民同士の関わりを肯定しつつも「助け合う」ことまですることを求めている。

地域やコミュニティでの活動については、町内会・自治会の範囲をあげるものが約半数を占めて最も多いが、「参加していない」とする者も3割近い。参加しない理由については様々だが「時間がない」ことをあげる者が多い。また、参加している内容は自治会等の活動が最も多い。拠点・組織としての認識としては「ふれあいセンター」を8割近くの者があげ、次いで「社会福祉協議会」が6割ほどで、この二者が群を抜いていた。

なお、いずれの項目でも属性別でみると、地域別および年齢層別で差がある傾向がみられた。

(5) ご近所との付き合いの程度



地域別・年齢層別

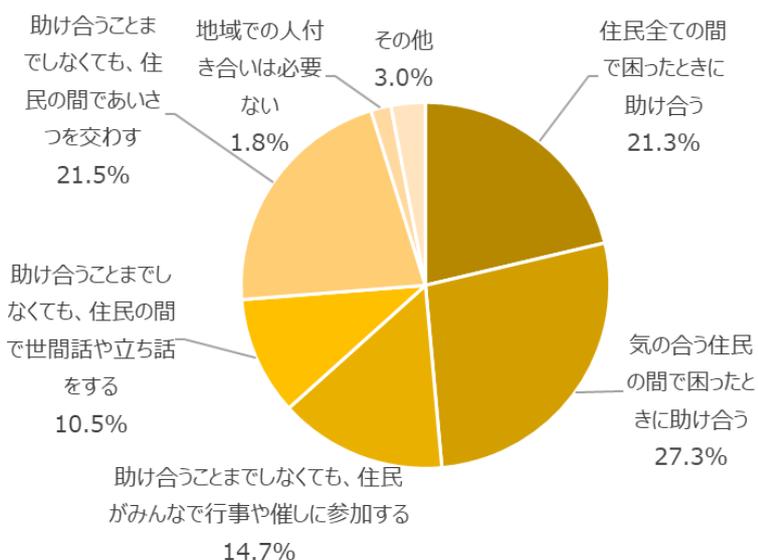
	地域別				年齢層別			
	東部	中央部	西部	北部	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上
何か困った時に助け合える関係	10.4	14.4	18.8	32.4	0.0	2.1	13.8	21.2
お互いに訪問し合う程度	8.3	3.1	4.3	8.8	0.0	0.0	4.0	6.7
立ち話をする程度	26.0	28.4	36.8	23.5	16.7	21.1	24.7	34.7
あいさつをする程度	47.9	43.8	29.9	35.3	66.7	49.5	49.4	33.0
ほとんど付き合いはない	7.3	10.3	10.3	0.0	16.7	27.4	8.0	4.4
合計人数(人)	96	320	117	34	6	95	174	297

※数字は単位が明記されている箇所を除き、各地域、各年齢層の合計人数を100とした場合の割合(%)を示す

※年齢カテゴリは20歳以上について、10歳区切りを20歳区切りに再カテゴリ化している(20～29歳と30～39歳、40～49歳と50～59歳、60～69歳と70歳以上をそれぞれまとめた(以下の表も同様))。

※地域は「東部」が東岐波と西岐波、「西部」が原、黒石、厚南、西宇部、「北部」が船木、万倉、吉部、厚東、二俣瀬、小野であり、これ以外が「中央部」をなす(以下の表も同様)。

(6) 地域での人付き合いについての望ましい程度



【その他・記述】災害時、非常時に助け合う／仕事の都合で時間がない／新型コロナの影響で難しい

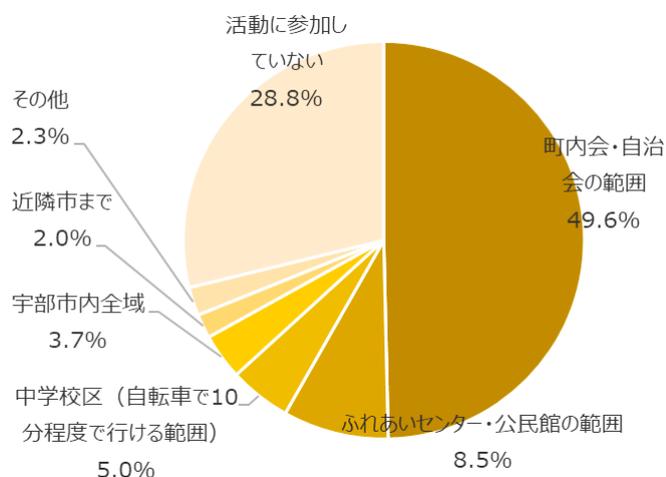
地域別・年齢層別

	地域別				年齢層別			
	東部	中央部	西部	北部	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上
何か困った時に助け合える関係	10.4	14.4	18.8	32.4	0.0	2.1	13.8	21.2
お互いに訪問し合う程度	8.3	3.1	4.3	8.8	0.0	0.0	4.0	6.7
立ち話をする程度	26.0	28.4	36.8	23.5	16.7	21.1	24.7	34.7
あいさつをする程度	47.9	43.8	29.9	35.3	66.7	49.5	49.4	33.0
ほとんど付き合いはない	7.3	10.3	10.3	0.0	16.7	27.4	8.0	4.4
合計人数(人)	96	320	117	34	6	95	174	297

※数字は各カテゴリ別の%

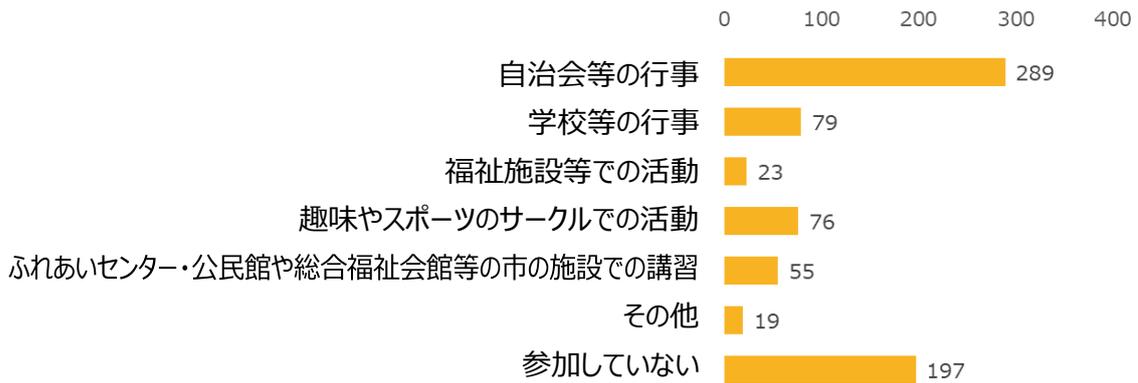
(7) 地域やコミュニティでの自分の活動範囲

【その他・記述】県外／三軒両隣程度／仕事の都合で時間が無い／施設入居中



宇部市地域福祉意識調査

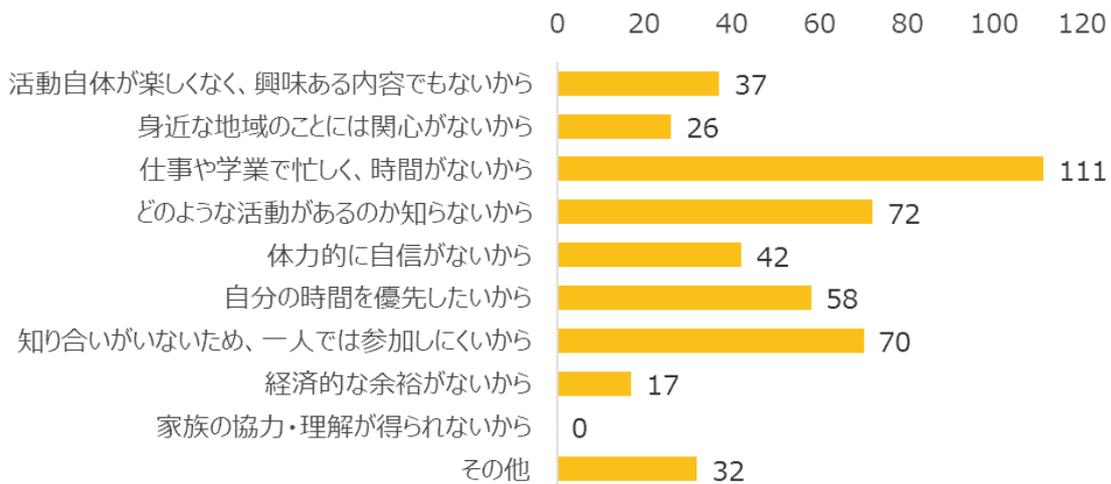
(8) 居住地域で参加している活動（複数回答）



地域別・年齢層別（再カテ）

	地域別				年齢層別			
	東部	中央部	西部	北部	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上
自治会等の行事	54.2	44.7	59.8	67.6	0.0	29.2	43.4	62.3
学校等の行事	8.3	13.4	17.1	23.5	33.3	18.8	25.7	4.7
福祉施設等での活動	3.1	2.8	9.4	0.0	0.0	3.1	2.3	5.4
趣味やスポーツのサークルでの活動	11.5	12.2	12.8	32.4	16.7	3.1	11.4	17.5
ふれあいセンター・公民館や総合福祉会館等の市の施設での講習	9.4	8.4	11.1	17.6	0.0	2.1	5.1	14.8
その他	6.3	2.2	2.6	2.9	0.0	1.0	2.9	4.0
参加していない	28.1	39.4	29.1	17.6	50.0	59.4	34.9	25.6

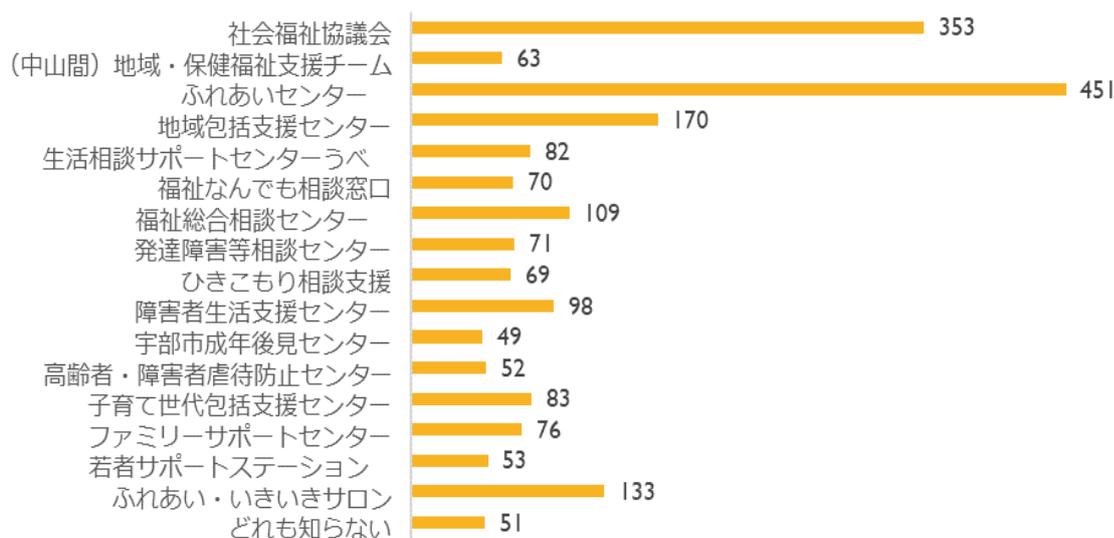
(9) 地域での活動に参加していない理由（主なもの3つ）



【その他・記述】家族にまかせている／興味がない／アパート・寮に住んでいるから／介護のため／子どもが成長し、地域活動への参加が減った／体力がない／障害がある／子供が高校生になり、地域活動が減った。

宇部市地域福祉意識調査

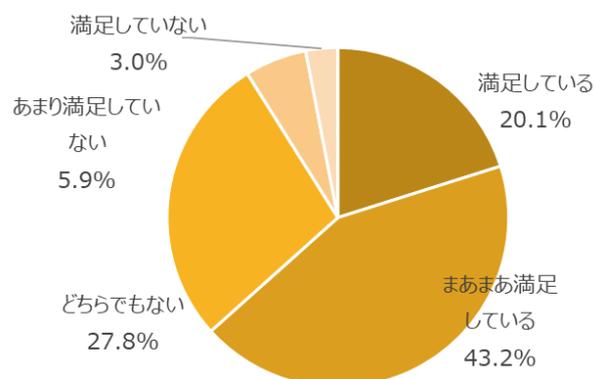
(10) 地域福祉の拠点や組織について知っているもの（複数回答）



地域別・年齢層別（再カテ）

	地域別				年齢層別			
	東部	中央部	西部	北部	19歳以下	20～39歳	40～59歳	60歳以上
社会福祉協議会	65.6	60.6	54.7	88.2	16.7	45.8	60.6	68.0
(中山間)地域・保健福祉支援チーム	8.3	8.8	12.8	35.3	0.0	11.5	11.4	10.8
ふれあいセンター	83.3	75.9	82.9	85.3	83.3	69.8	80.0	80.5
地域包括支援センター	30.2	27.5	27.4	61.8	16.7	25.0	29.1	31.6
生活相談サポートセンターうべ	11.5	15.6	12.8	17.6	33.3	10.4	16.6	13.8
福祉なんでも相談窓口	13.5	10.0	14.5	23.5	0.0	9.4	10.3	14.5
福祉総合相談センター	19.8	19.4	18.8	17.6	0.0	11.5	15.4	23.9
発達障害等相談センター	12.5	9.7	17.9	20.6	0.0	14.6	14.9	10.4
ひきこもり相談支援	14.6	11.3	13.7	8.8	0.0	8.3	14.3	12.1
障害者生活支援センター	18.8	15.0	21.4	17.6	0.0	18.8	18.9	15.8
宇部市成年後見センター	10.4	6.6	11.1	14.7	0.0	7.3	9.1	8.8
高齢者・障害者虐待防止センター	12.5	8.1	10.3	5.9	0.0	12.5	8.0	8.8
子育て世代包括支援センター	14.6	13.1	17.1	20.6	16.7	17.7	16.0	12.5
ファミリーサポートセンター	10.4	15.0	12.0	11.8	0.0	13.5	21.7	8.4
若者サポートステーション	8.3	9.7	10.3	5.9	0.0	15.6	10.9	6.4
ふれあい・いきいきサロン	16.7	19.7	34.2	41.2	0.0	17.7	20.0	27.3
どれも知らない	8.3	9.4	9.4	2.9	16.7	15.6	6.9	7.7

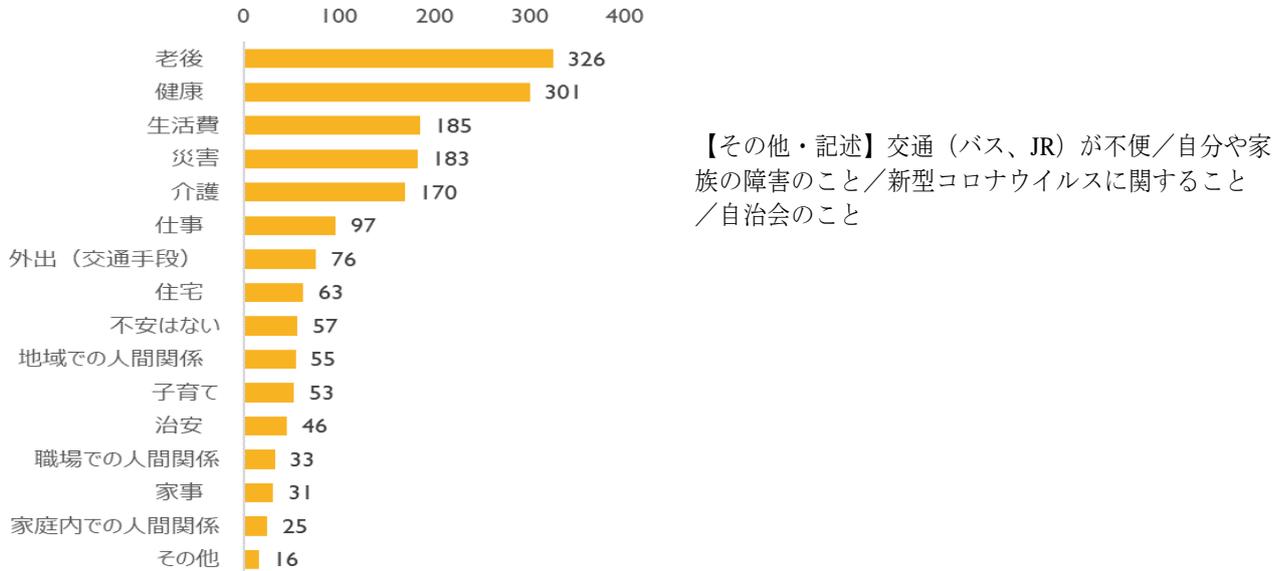
(11) 居住地域との関わりについての満足度



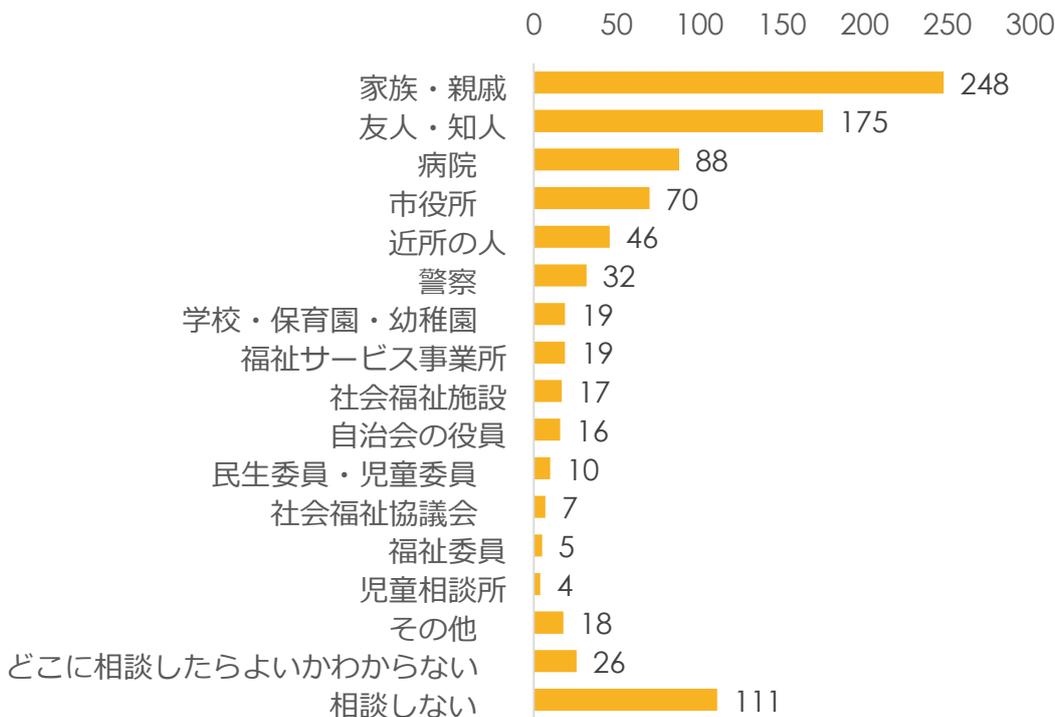
2.2 日常生活の悩み・課題

日常生活の不安としては、「老後」「健康」といった項目をあげる者が過半数を占めた。また、相談先としては、「家族・親戚」「友人・知人」といった親しい者をあげたものが多く、次いで「病院」をあげる者が多かった。

(12) 日常生活で、どのようなことに悩みや不安がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。



(13) 悩みや不安がある場合、実際に相談したことがある人（窓口）は誰（どこ）ですか。該当するものすべてに○をつけてください。



【その他・記述】まちなか保健室／市議会議員／税理士、行政書士／会社の相談センター

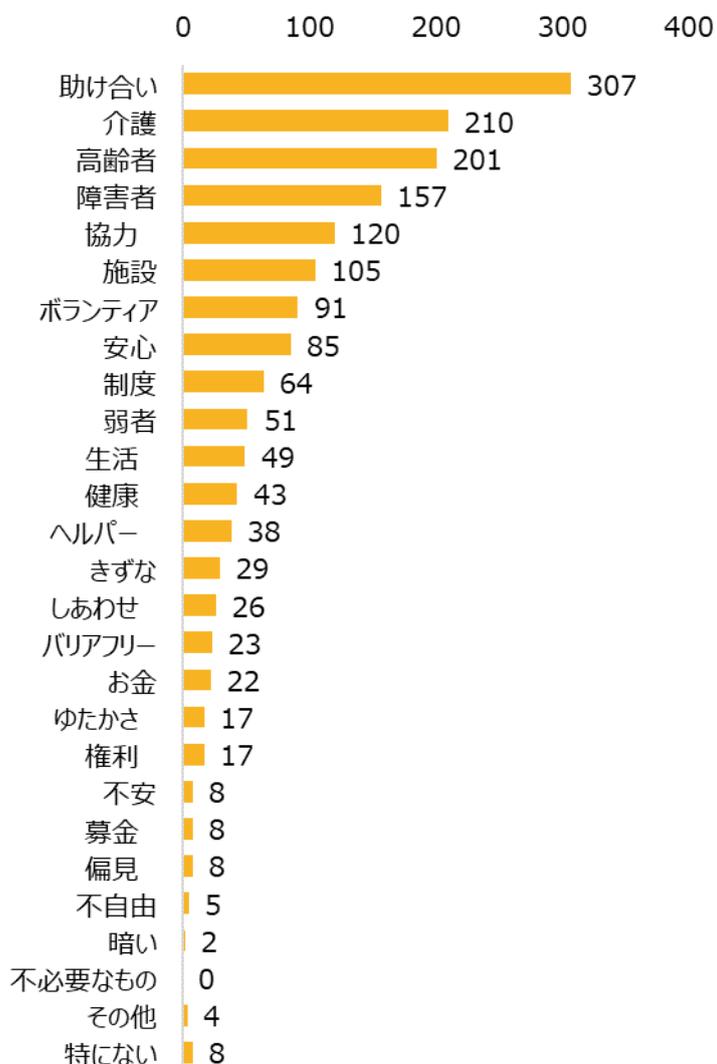
2.3 地域福祉の考え方について

福祉ということについては、「助け合い」という言葉を想起する者が最も多かったが、続くものとしては「介護」「高齢者」「障害者」があがっており、社会的弱者に対するものであるとの認識が強い様子が見られる。

日常生活上での援助・支援ということでは、直接での支援より情報提供による自己解決の促進を望む意見が多い。また、「手助け」に関しては「できる」数に比して、「している」数がかなり少ない様子が見られた。

(14) 「福祉」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。主なものを 3 つ選んで○をつけてください。

N=574	人	%
助け合い	307	53.5
しあわせ	26	4.5
ゆたかさ	17	3.0
きずな	29	5.1
安心	85	14.8
協力	120	20.9
不自由	5	0.9
暗い	2	0.3
不安	8	1.4
高齢者	201	35.0
障害者	157	27.4
弱者	51	8.9
介護	210	36.6
ヘルパー	38	6.6
ボランティア	91	15.9
バリアフリー	23	4.0
健康	43	7.5
生活	49	8.5
施設	105	18.3
制度	64	11.1
権利	17	3.0
募金	8	1.4
不必要なもの	0	0.0
お金	22	3.8
偏見	8	1.4
その他	4	0.7
特にない	8	1.4



宇部市地域福祉意識調査

(15) 現在、お住まいの地域で、日常生活に困ったことを抱えている人がいますか。該当するものすべてに○をつけてください。



(16) あなたは、日常生活で困っている人がいた場合、どのような援助が必要だと思いますか。主なものを3つ選んで○をつけてください。

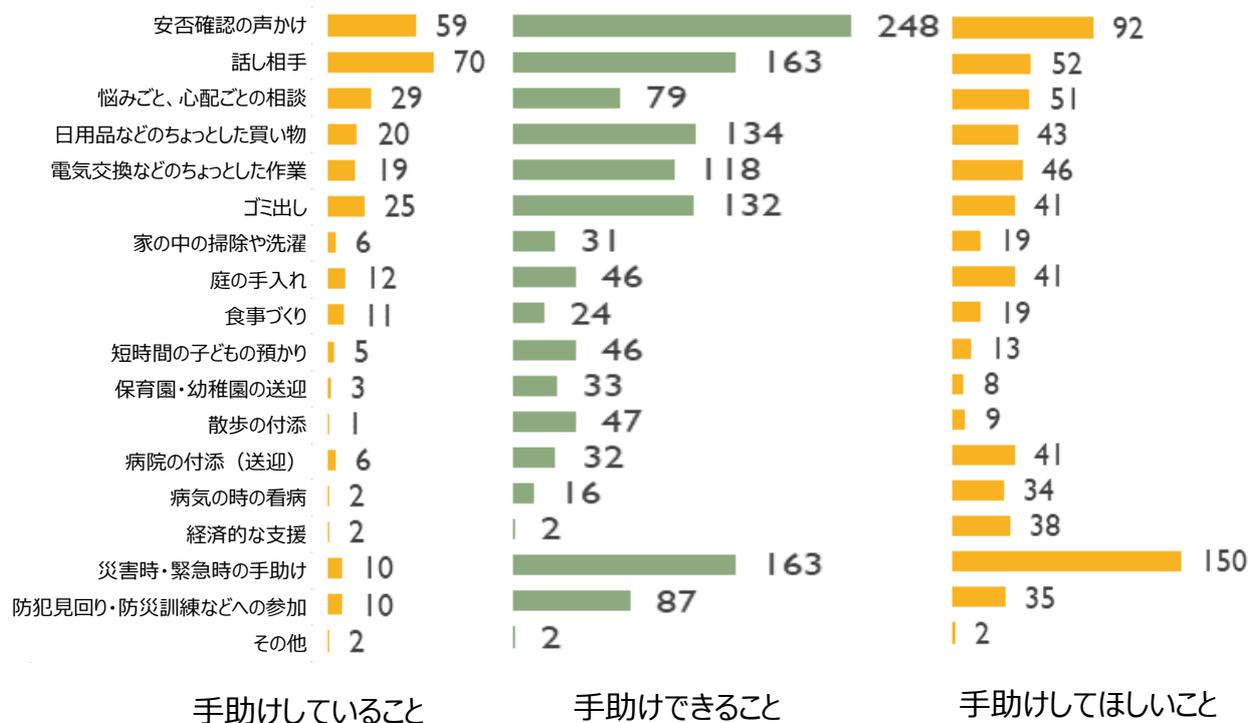
N=574



宇部市地域福祉意識調査

(17) あなたは、地域に困っている世帯がある場合、現在すでに「手助けしていること」や「今後手助けできること」はありますか。また、現在もしくは将来的にあなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。該当するものすべてに○をつけてください。

N=574	周りの人に関すること				ご自身に関すること	
	手助けしていること		手助けできること		手助けしてほしいこと	
	人	%	人	%	人	%
安否確認の声かけ	59	10.3	248	43.2	92	16.0
話し相手	70	12.2	163	28.4	52	9.1
悩みごと、心配ごとの相談	29	5.1	79	13.8	51	8.9
日用品などのちょっとした買い物	20	3.5	134	23.3	43	7.5
電気交換などのちょっとした作業	19	3.3	118	20.6	46	8.0
ゴミ出し	25	4.4	132	23.0	41	7.1
家の中の掃除や洗濯	6	1.0	31	5.4	19	3.3
庭の手入れ	12	2.1	46	8.0	41	7.1
食事づくり	11	1.9	24	4.2	19	3.3
短時間の子どもの預かり	5	0.9	46	8.0	13	2.3
保育園・幼稚園の送迎	3	0.5	33	5.7	8	1.4
散歩の付添	1	0.2	47	8.2	9	1.6
病院の付添(送迎)	6	1.0	32	5.6	41	7.1
病気の時の看病	2	0.3	16	2.8	34	5.9
経済的な支援	2	0.3	2	0.3	38	6.6
災害時・緊急時の手助け	10	1.7	163	28.4	150	26.1
防犯見回り・防災訓練などへの参加	10	1.7	87	15.2	35	6.1
その他	2	0.3	2	0.3	2	0.3



2.4 地域福祉の推進について

宇部市の地域福祉の現状については、一部を除き、評価が高いほうとはいえない。しかし、5年前との比較による変化については、「悪くなった」とする者はごく少数である。

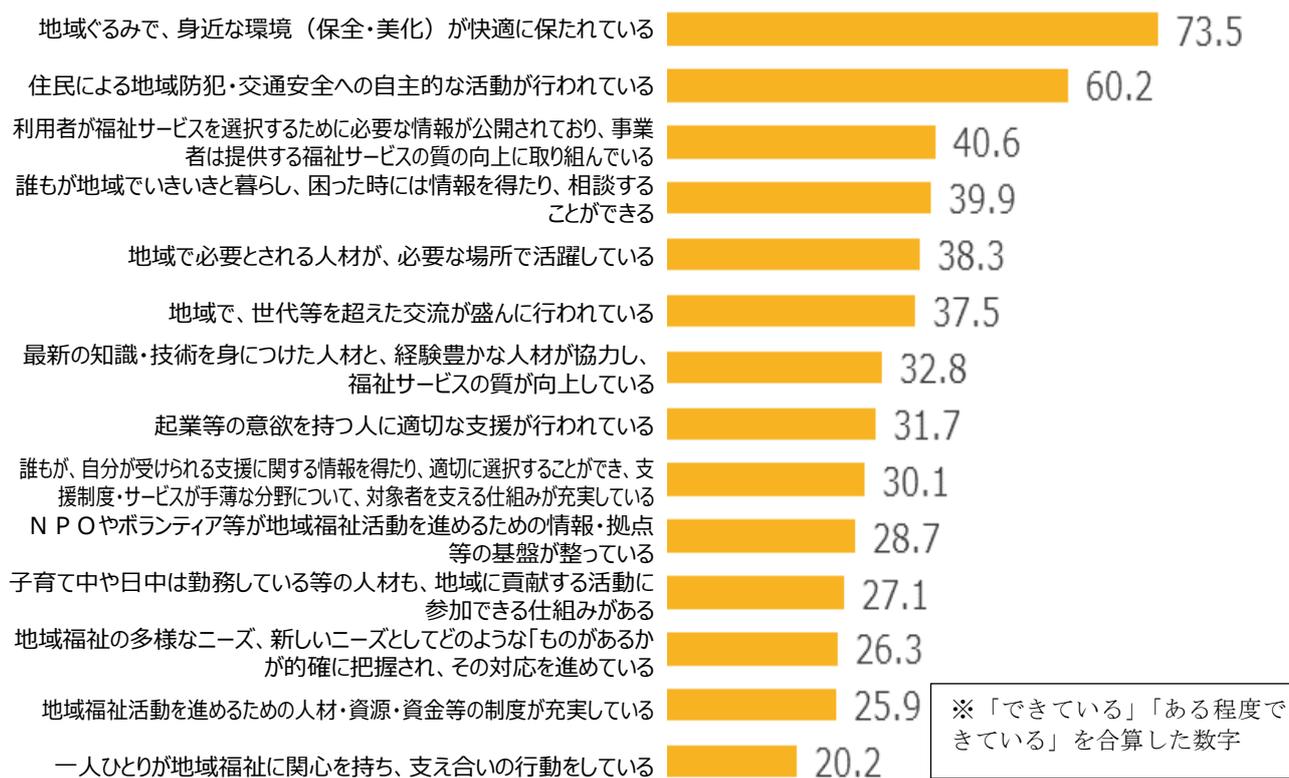
今後の福祉関連施策に望むものとしては、高齢者向けの在宅福祉と医療体制の整備が多く、その他多岐にわたっている。

(18) 宇部市の地域福祉の現状についてどう思われますか。次の項目ごとに該当するものを1つずつ選んで○をつけてください。

(%)

	できている	ある程度できている	あまりできていない	ほとんどできていない	N (人)
地域で、世代等を超えた交流が盛んに行われている	3.5	34.0	40.6	21.9	456
誰もが地域でいきいきと暮らし、困った時には情報を得たり、相談することができる	1.6	38.3	42.1	18.0	449
一人ひとりが地域福祉に関心を持ち、支え合いの行動をしている	0.9	19.3	51.7	28.1	441
NPOやボランティア等が地域福祉活動を進めるための情報・拠点等の基盤が整っている	2.1	26.6	47.6	23.8	429
地域福祉活動を進めるための人材・資源・資金等の制度が充実している	1.2	24.8	49.5	24.5	424
地域福祉の多様なニーズ、新しいニーズとしてどのような「もの」があるかが的確に把握され、その対応を進めている	1.0	25.3	48.2	25.5	419
誰もが、自分が受けられる支援に関する情報を得たり、適切に選択することができ、支援制度・サービスが手薄な分野について、対象者を支える仕組みが充実している	2.1	28.0	46.3	23.4	432
最新の知識・技術を身につけた人材と、経験豊かな人材が協力し、福祉サービスの質が向上している	2.4	30.4	44.8	22.6	424
利用者が福祉サービスを選択するために必要な情報が公開されており、事業者は提供する福祉サービスの質の向上に取り組んでいる	3.3	37.3	41.5	17.7	429
子育て中や日中は勤務している等の人材も、地域に貢献する活動に参加できる仕組みがある	1.7	25.5	51.0	22.1	420
地域で必要とされる人材が、必要な場所で活躍している	2.8	35.4	43.9	17.6	426
起業等の意欲を持つ人に適切な支援が行われている	1.7	30.0	47.5	20.8	413
住民による地域防犯・交通安全への自主的な活動が行われている	10.9	49.3	29.8	10.0	450
地域ぐるみで、身近な環境(保全・美化)が快適に保たれている	18.1	55.4	19.6	7.1	464

宇部市地域福祉意識調査

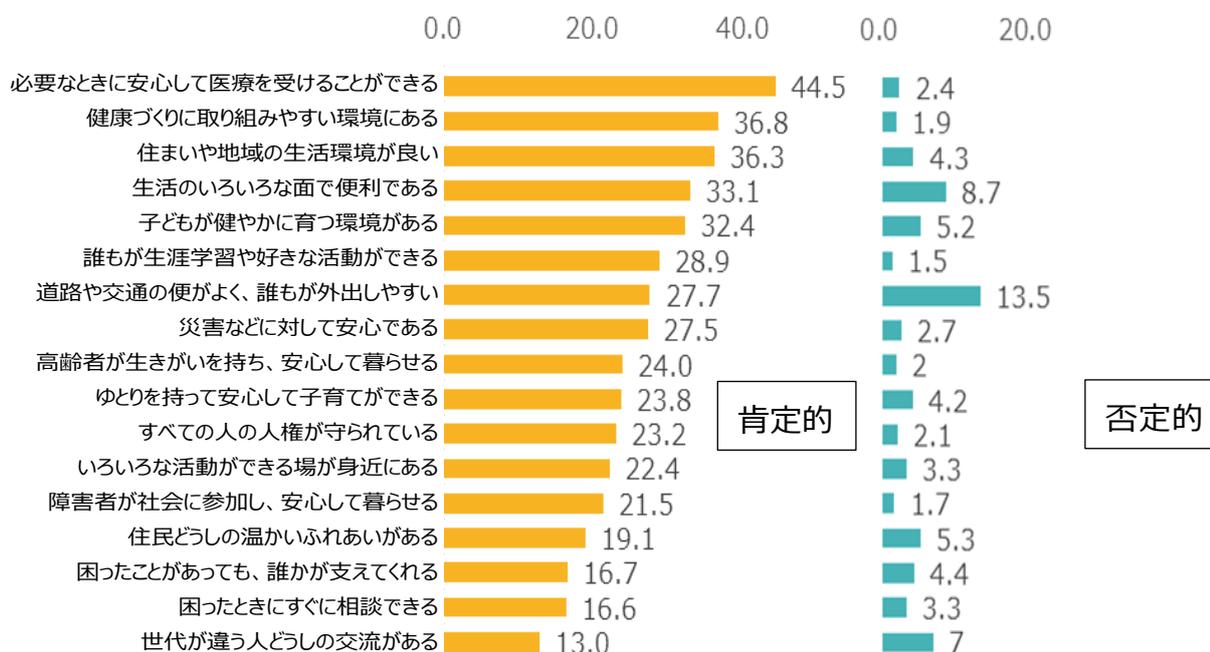


宇部市地域福祉意識調査

(19) あなたのお住まいの地域に関する環境について、次のことは5年前と比べて、どのように変わったと思いますか。次の項目ごとに1つずつ選んで○をつけてください。

(%)

	かなり よくなった	多少は よくなった	あまり 変わらな い	悪くなった	わからな い	N (人)
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる	4.3	19.7	44.7	2.0	29.3	488
障害者が社会に参加し、安心して暮らせる	2.5	19.0	41.9	1.7	35.0	480
ゆとりを持って安心して子育てができる	3.1	20.7	40.4	4.2	31.6	478
子どもが健やかに育つ環境がある	5.4	27.0	38.0	5.2	24.3	481
必要なときに安心して医療を受けることができる	13.7	30.8	38.8	2.4	14.3	490
健康づくりに取り組みやすい環境にある	8.9	27.9	39.3	1.9	22.1	484
誰もが生涯学習や好きな活動ができる	4.8	24.1	42.2	1.5	27.4	481
住民どうしの温かいふれあいがある	4.1	15.0	54.7	5.3	20.9	488
世代が違う人どうしの交流がある	1.4	11.6	52.3	7.0	27.7	484
困ったときにすぐに相談できる	4.0	12.6	51.3	3.3	28.9	478
困ったことがあっても、誰かが支えてくれる	3.2	13.5	46.5	4.4	32.4	475
住まいや地域の生活環境が良い	7.9	28.4	45.5	4.3	13.9	483
道路や交通の便がよく、誰もが外出しやすい	6.1	21.6	46.3	13.5	12.7	490
生活のいろいろな面で便利である	9.3	23.8	44.3	8.7	14.0	492
いろいろな活動ができる場が身近にある	4.4	18.0	49.6	3.3	24.9	482
すべての人の人権が守られている	5.2	18.0	45.9	2.1	29.0	482
災害などに対して安心である	6.8	20.7	47.7	2.7	22.3	484



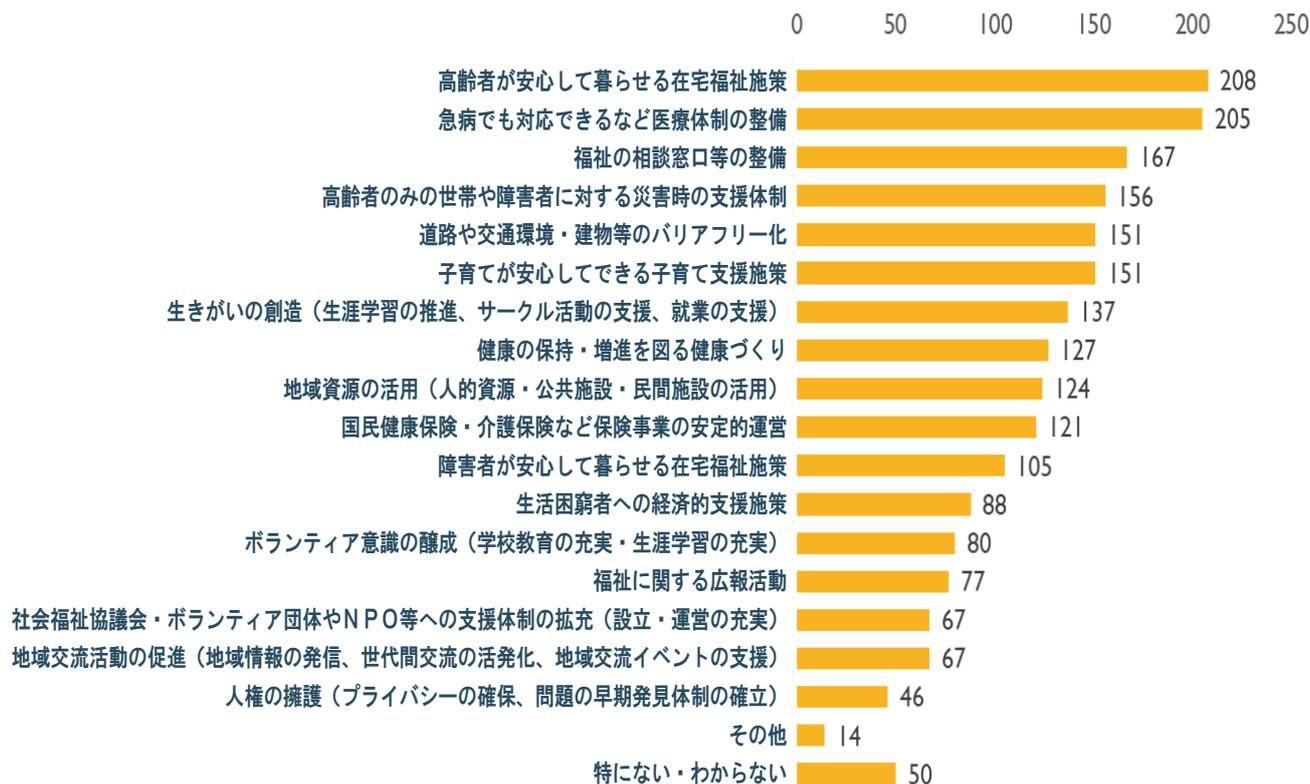
注)「肯定的」は「かなりよくなった」「多少はよくなった」を合算した数字。「否定的」は「悪くなった」と回答した数。

宇部市地域福祉意識調査

(20) 宇部市が、福祉関連の分野で、特に力を入れて取り組むべきだと思われる施策を5つまで選んで○をつけてください。

N=574

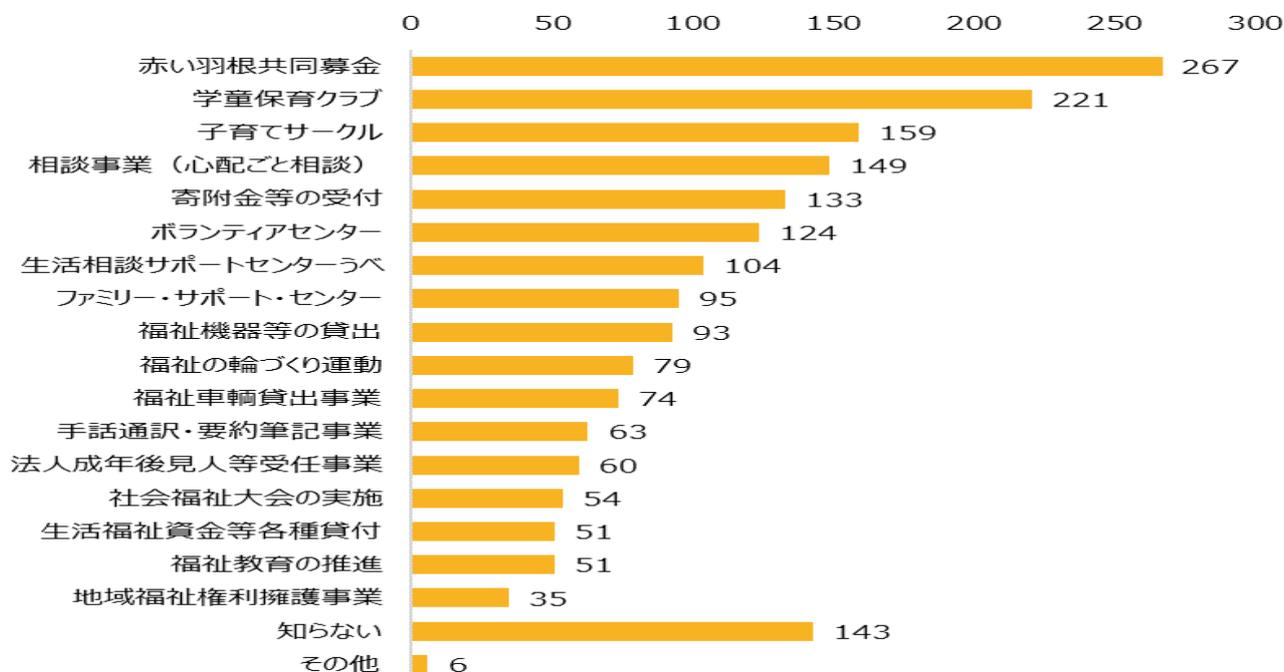
	人	%
福祉の相談窓口等の整備	167	29.1
地域資源の活用(人的資源・公共施設・民間施設の活用)	124	21.6
ボランティア意識の醸成(学校教育の充実・生涯学習の充実)	80	13.9
社会福祉協議会・ボランティア団体やNPO等への支援体制の拡充(設立・運営の充実)	67	11.7
地域交流活動の促進(地域情報の発信、世代間交流の活発化、地域交流イベントの支援)	67	11.7
生きがいの創造(生涯学習の推進、サークル活動の支援、就業の支援)	137	23.9
健康の保持・増進を図る健康づくり	127	22.1
道路や交通環境・建物等のバリアフリー化	151	26.3
高齢者のみの世帯や障害者に対する災害時の支援体制	156	27.2
高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	208	36.2
障害者が安心して暮らせる在宅福祉施策	105	18.3
子育てが安心してできる子育て支援施策	151	26.3
急病でも対応できるなど医療体制の整備	205	35.7
生活困窮者への経済的支援施策	88	15.3
国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	121	21.1
人権の擁護(プライバシーの確保、問題の早期発見体制の確立)	46	8.0
福祉に関する広報活動	77	13.4
その他	14	2.4
特にない・わからない	50	8.7



2.5 宇部市社会福祉協議会について

「赤い羽根共同募金」の認知度が高く、続いて上位に来たのは子育て関連事業であった。求めるものとしては「相談事業」をあげた者が多かった。

(21) 宇部市社会福祉協議会がどのような活動をしているか知っていますか。知っている事業すべてに○をつけてください。



(22) 問 21 の設問に関連して、これらの事業の中で、今後、力を入れてほしいものを3つ選んで○をつけてください。

